

# アストラムライン延伸事業の整備プログラムの検討状況について

平成26年4月22日の特別委員会で示した「アストラムライン延伸事業の基本方針」で整理したとおり、今年度は延伸事業を具体化するとした場合の着手・完了時期などを盛り込んだ整備プログラムを作成することとしている。この整備プログラムの作成に向けて、段階整備の可能性について検討した。

## 段階整備の可能性

### (1) 検討の目的

全区間の開業時期に影響しない範囲において、段階整備により部分開業することで、整備効果が早期に発現するとともに、相当数の利用者が見込まれれば、広島高速交通㈱の経営への効果が期待できることから、その可能性について検討する。

### (2) 段階整備により部分開業する区間の設定

既存区間からの利用も考慮して、広域公園前駅から延伸ルートほぼ中央地点に位置し大型商業施設の立地が決定している石内東開発地までを段階整備により部分開業する区間として設定し、早期開業による利用者の増加や広島高速交通㈱の経営への影響・効果を把握する。

なお、当該区間は、一般的に時間を要する用地買収や物件補償の規模（面積、件数）が全区間の10%程度と少ないことから、早期の工事完了が見込める区間である。

#### 【区間毎の内訳】

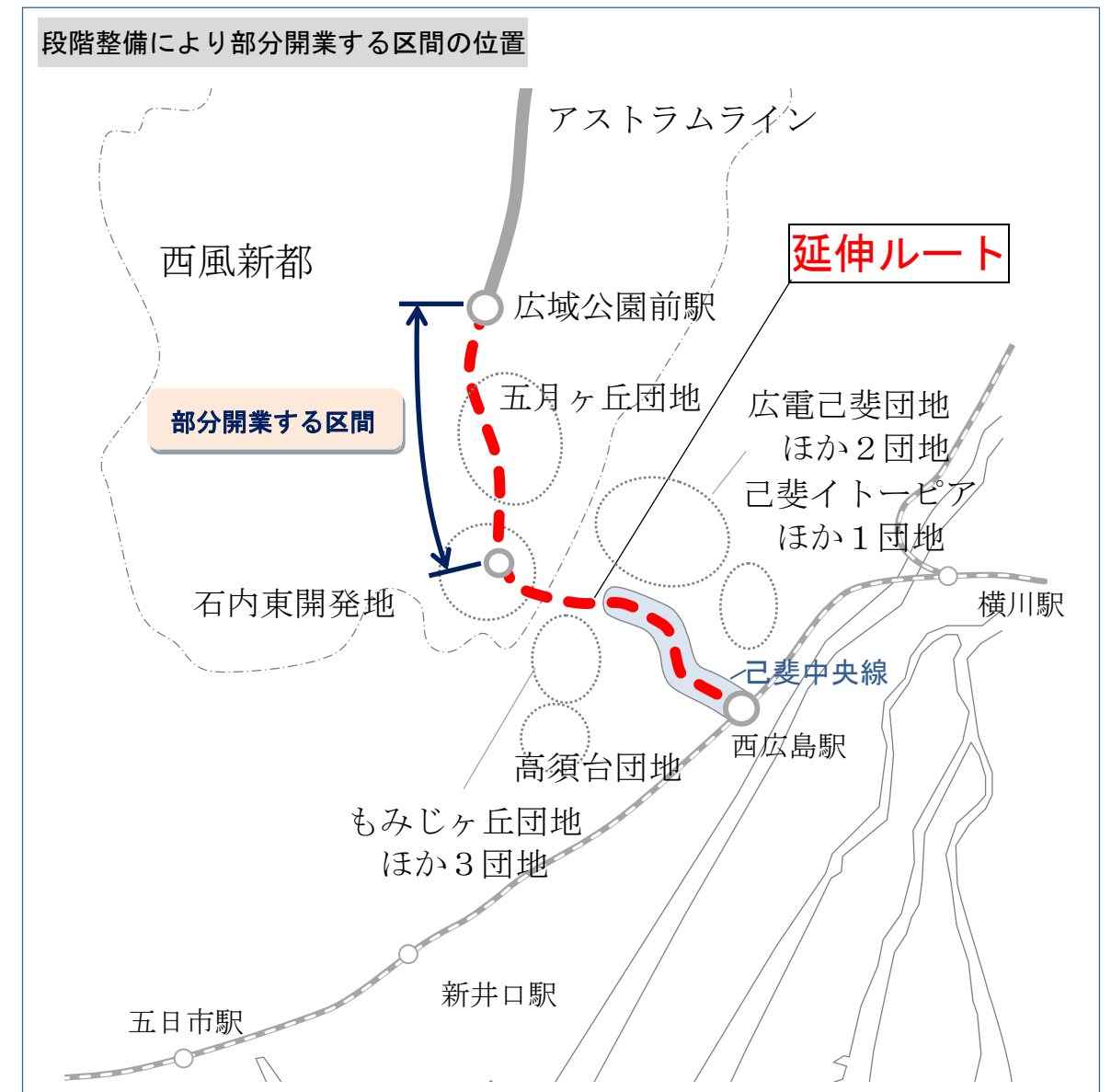
区分	延長	用地補償費		工事費等	事業費
		用地買収面積	補償物件数		
段階整備により部分開業する区間	3.2 km	約15億円		約190億円	約205億円
広域公園前駅・石内東開発地間		約9,000㎡ (13%)	29件 (11%)		
その他の区間	3.9 km	約160億円		約205億円	約365億円
石内東開発地・西広島駅間		約58,000㎡ (87%)	231件 (89%)		
全区間	7.1 km	約175億円		約395億円	約570億円
広域公園前駅・西広島駅間		約67,000㎡ (100%)	260件 (100%)		

( ) 内は全区間に占める割合

### (3) 段階整備により部分開業する区間の利用者数（H42予測）

部分開業する区間の利用者数を推計した結果、約6千人/日（3駅）となった。

〔参考〕これまでの特別委員会で示した延伸全区間の利用者数（H42予測）  
約1万5千人/日（6駅）



### (4) 広島高速交通㈱の経営への影響・効果

左記(3)で示した利用者数に基づき、部分開業する区間の開業による営業利益を算出した。

（営業利益＝営業収入－営業費用：H42時点）

営業収入：約5.3億円/年（運賃収入、広告料等の雑収入）

一）営業費用：約3.6億円/年（人件費、修繕費、固定資産税等）

営業利益：約1.7億円/年

段階整備によって、約1.7億円/年の営業利益が見込まれることから、借入金の早期償還に貢献するなど、広島高速交通㈱の経営への好影響・好効果が期待される。  
このため、広域公園前駅から石内東開発地までの段階整備による部分開業は、有益である。